

事業番号	07 03 03	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	最先端デジタル社会実現事業費	部局	産業労働部	課・室	産業立地・IT振興課	
		実施期間	R5～	E-mail	ritti-it @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

・行政・企業・地域などにおいて、デジタルの力が十分に活かされておらず、さらなる利便性や快適さを追求できる余地が残っている。
 ・少子高齢化の状況下において、人材の呼びみや、スーパーメガリージョンの形成を見据えた、関係人口創出のための企業誘致を推進する必要がある。

2 事業目的

デジタルの力を活用し、官民連携のもと、最先端デジタル技術の導入・多様なデータの利活用がなされ、誰もが便利で快適に暮らせる社会の実現を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

関係人口創出・グローバル企業誘致の推進

リニア中央新幹線の開業に備え、周辺地域へIT企業の立地を促進させ、地域経済を活性化し、関係人口の創出と若者が定着する魅力ある地域に磨き上げていくとともに、この取組を全県へ拡大していく

4 成果指標

(推移の凡例 ↑:改善 ↓:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	関係人口創出・グローバル企業誘致事業 マッチング件数	件	-	-	—	0	—	4	未達成	リニア圏域となる上伊那、下伊那（北部、西南部）、木曽の4地域すべてにおいて企業誘致を戦略的に進めるため、各地域1件のマッチングを目標とする	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	★労働生産性(2020年度比)	%	-	-	2021 (R3)	5.2	2025 (R7)	11.2		
3-1⑥	移住・交流・多様なかかわりの展開	★移住者数	人	2021 (R3)	2,960	2021 (R3)	3,334	2023 (R5)	3,363	2027 (R9)	4,500

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	0	12,207	0	12,207	6,000	6,378	2.0
R4年度	-	-	-	0	-	-	-
R3年度	-	-	-	0	-	-	-

事業番号	07 03 03	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	最先端デジタル社会実現事業費		部局	産業労働部	課・室	産業立地・IT振興課

7 主な取組実績と成果

関係人口創出・グローバル企業誘致の推進

市町村及び広域連合に対し、IT企業等との共創による地域の魅力を向上させるためテーマを募集したところ、7団体から12の応募があった。

デジタル活用等により、関係人口の創出や、企業の誘致につながる取組を創出するため、IT企業などの有識者を迎えたワークショップや、複数回の個別の打合せ等を行い、テーマのブラッシュアップを実施。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	関係人口創出・グローバル企業誘致事業	マッチング件数	R4年度推移	—	R5年度推移	—	達成状況	未達成
<p>本事業はリニア開業までの地域づくりを目指しているものであり、中長期的に取り組むべきテーマを扱っていることから、企業とのマッチングには至らなかった。</p> <p>令和5年度はテーマのブラッシュアップのほか、取組をスムーズに促進するための地域内連携体制構築及び共創したいIT企業像等を明確化した。</p>								

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題
<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ応募団体以外の周辺市町村も同様のテーマへの興味・関心が一定数あることが判明したため、これらの市町村との連携体制構築が必要。 ・企業とのマッチングに向け、具体的な企業の掘り起こしや、企業の参加メリット（ビジネスチャンス等）についての検討が必要。
(2) 事業改善の方策
<ul style="list-style-type: none"> ・周辺市町村に対し、事業の進捗状況を適時情報共有を行い、市町村間の連携体制構築を模索する。 ・明確化した企業像を基に、具体的な企業をリサーチし、マッチングイベントへの参加を促進する取組を実施する。また、それらの企業に合わせた地域の特性等を活かしたPR方法についてテーマ提出団体とともに検討し、企業とのマッチングを目指す。さらに、マッチング企業とテーマ提出団体による共創の取組が円滑に進むよう、伴走支援を行う。 ・長期的な視点が必要なテーマについては、引き続き、関係者との打合せや必要に応じてワークショップ等の開催により、テーマのブラッシュアップと取組の方向性の形成を目指し、企業との共創に向けた支援を実施する。

事業番号 07 03 03 **細事業一覧（令和5年度実施事業分）** 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	最先端デジタル社会実現事業費	部局	産業労働部	課・室	産業立地・IT振興課
-----	-----------------------	----	-------	-----	------------

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	関係人口創出・グローバル企業誘致事業 ～リニアバレー最先端デジタル田園都市構築事業～	- 千円	- 千円	6,378 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	関係人口創出・グローバル企業誘致事業 ～リニアバレー最先端デジタル田園都市構築事業～	直接 委託	・市町村、広域連合等に対し、取り組みたい地域の魅力向上に係るテーマを募集。地域の持つポテンシャル等（強み・弱み）の見える化、更なるテーマの深堀、取組方針の検討を実施。 実施団体数：6市町村1広域連合	